

# 公立学校における日本語指導が必要な児童生徒数の推移

資料2-2

(小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、義務教育学校、特別支援学校)

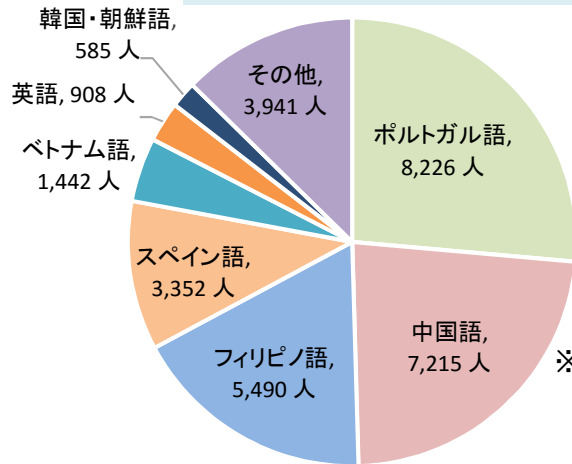


(出典)文部科学省「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成28年度)」

# 帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導の現状

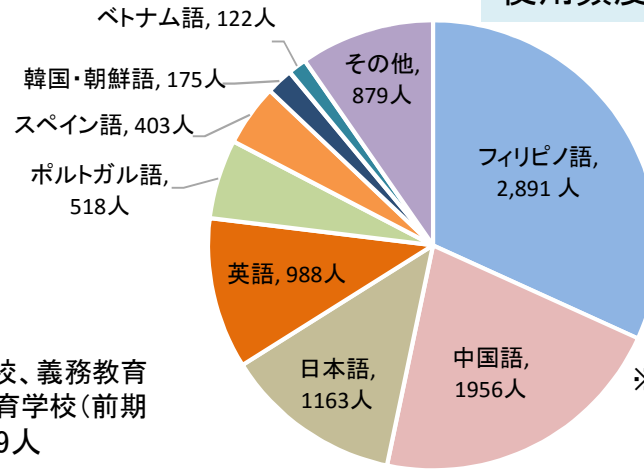
## ① 日本語指導が必要な児童生徒は多様化している

外国籍児童生徒の母語



※公立小・中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程) 31,159人

日本国籍児童生徒の比較的使用頻度の高い言語



※公立小・中学校、義務教育学校、中等教育学校(前期課程) 7,485人

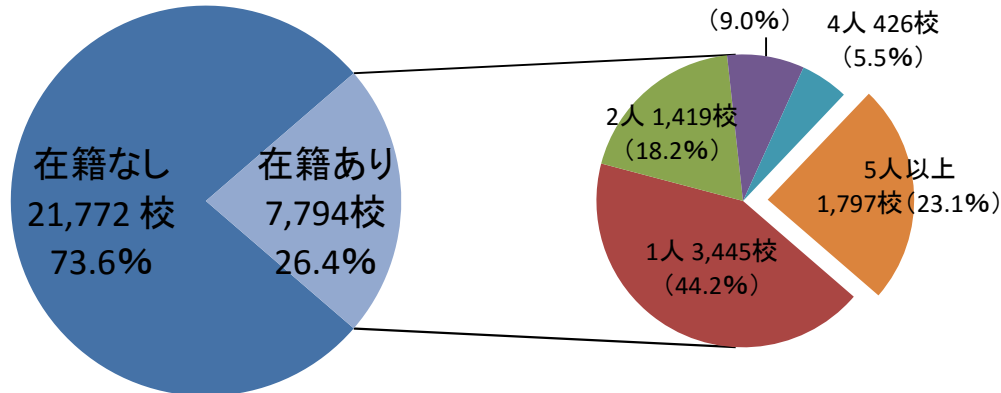
「その他」の言語  
インドネシア語、ウルドゥー語、タイ語、ネパール語、ベンガル語、モンゴル語、ロシア語、アラビア語、ペルシャ語、マレー語 等

## ② 日本語指導が必要な児童生徒は集住化・散在化の傾向がみられる

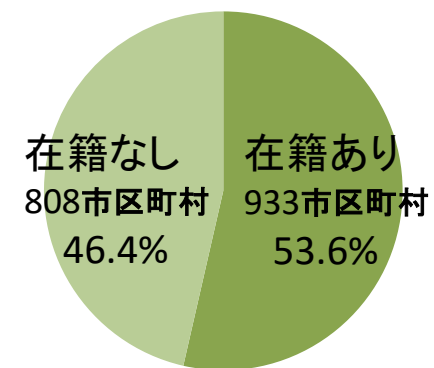
### 【日本語指導が必要な児童生徒が在籍する学校数・市町村数】

#### 日本語指導が必要な児童生徒が在籍する公立小・中学校数

(公立小・中学校 29,566校)



#### 公立小・中・高等学校等に日本語指導が必要な児童生徒が在籍する市町村数



「日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査(平成28年度)」の結果より